

平成 30 年度 氷見市 中学生 冬季 大会
兼 第 14 回 春の全国中学生ハンドボール選手権大会開催地代表決定戦
実 施 要 項

- 1 主 催 氷見市ハンドボール協会
- 2 共 催 氷見市中学校体育連盟
- 3 後 援 氷見市教育委員会 (公財)氷見市体育協会
- 4 期 日 平成 31 年 1 月 12 日(土)、14 日(月・祝)
- 5 会 場 氷見市ふれあいスポーツセンター メインアリーナ
氷見市鞍川 43 番地 1 TEL 0766-74-8500
- 6 競技規則 (1) 平成 30 年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則による。
(2) 大会使用球は、(公財)日本ハンドボール協会検定球とする。
- 7 競技方法 冬季大会は、第 14 回春の全国中学生ハンドボール選手権大会の富
山県代表チームと開催地代表チームで決勝戦を実施する。
開催地代表決定戦は、富山県代表が氷見市以外の場合には、全チ
ーム参加で実施する。開催地代表決定戦の申込みチーム数が 2 チームの
場合はトーナメント方式を、それ以外の場合はリーグ戦方式とする。
 - (1) トーナメント戦
 - (ア) 競技時間 25 分—10 分—25 分
正規の競技時間で勝敗が決しない場合は、第 1 延長戦 (5 分—1 分—5 分) を、それでも決しない場合は 7 mTC で勝敗を決める。
 - (2) リーグ戦方式
 - (ア) 競技時間 25 分—10 分—25 分
 - (イ) 順位の決定方法
 - ① ポイント制を用い、ポイントの多いチームが上位となる。
(勝利チーム 2 点、引き分け各チーム 1 点、敗者チーム 0 点)
 - ② 2 チーム以上のチームが同ポイントの場合
 - ・ 2 チーム、2 チーム以上のチーム同士のポイント数
 - ・ 2 チーム、2 チーム以上のチーム同士の総得点数差
 - ・ 2 チーム、2 チーム以上のチーム同士の総得点数
 - ③ 全試合の得失点差
 - ④ 全試合の総得点数
 - ⑤ 競技委員長が両チーム代表の立ち会いのもとに抽選を行う。
- 8 参加資格 (1) 平成 30 年度に県協会を通じて、申込締切日までに(公財)日本ハン
ドボール協会に登録した中学校、クラブ(総合型地域スポーツクラブ
等)及び「全国中学校体育大会合同チーム参加規程」による合同チ
ームとする。

※「全国中学校体育大会合同チーム参加規程」(抜粋)
趣旨：少人数のチームにつき単独でチーム編成ができないための
救済措置であり、勝利至上主義のためのチーム編成であつ

てはならない。

条件：合同チームとして、それぞれの学校教育計画に基づいて活動している。

- ・「規程」による2校以上からなる合同チーム
- ・「規程」の趣旨による中学校チームとクラブチームからなる合同チーム
- ・「規程」の趣旨による複数のクラブチームからなる合同チーム

(2) 選手は、平成16年4月2日～平成18年4月1日に生まれた者であること。

(3) 選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を得ること。クラブチームの選手は在学する学校長に届け出ること。

(4) 選手は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

- 9 チーム チーム構成は、役員4名・選手15名とする。
- 10 参加料 1チーム 3,000円（1月7日開会式後に事務局へ）
- 11 参加申込 所定の参加申込書（氷見市ハンドボール協会ホームページ）に必要事項を記入し、平成30年12月17日(月)までに、メールに添付して下記まで提出してください。

<http://himi-handball.jp/>

- 12 組合せ 富山県選抜大会の結果を考慮して決定する。
- 13 表彰 冬季大会の3位までを表彰する。
開催地代表決定戦における1位のチームは、「第14回春の全国中学生ハンドボール選手権大会 開催地代表」として出場権を得る。
- 14 その他 (1) 選手の背番号は、No.1～No.15を使用することが望ましい。大会申込後の番号の変更は認められない。
(2) ユニフォームは、CP、GKともに濃淡がはっきりした区別できる2着以上を用意すること。
(3) 参加選手、役員は登録証を持参すること。
(4) 競技中の傷害については、応急処置のみとし、その後の責任は負わない。
(5) 松ヤニ、松ヤニスプレーの使用は禁止する。ただし、両面テープの使用は認める。
(6) 今大会は、氷見市小学生冬季大会と合同開催となっています。
(7) インフルエンザに対する対応、対策は各チームで対処してください。会場には、消毒液のみ設置します。